

第7回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会 会議録

■開催日時・場所・出席者

日時 : 令和元年12月25日(水) 午後2時00分から午後4時00分まで

場所 : 鴨川市役所4F大会議室

出席者 : 以下のとおり

【出席委員】

No.	氏名	備考
1	鈴木 健史	(一社) 鴨川市観光協会 会長
2	藤巻 武仁	(一社) 鴨川市観光協会 副会長
3	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
4	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
5	川井 幹雄	鴨川サーフィンクラブ 会長
6	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
7	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 教授
8	大内 洋	公募による市民

【欠席委員】

No.	氏名	備考
1	浅田 朋靖	鴨川市商工会 商工会青年部長
2	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
3	菅原 明善	(一社) 鴨川市青年会議所 副理事長
4	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
5	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
6	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長
7	庄司 修	公募による市民
8	林 良樹	公募による市民
9	福田 雄一郎	鴨川市商工会 前青年部長
10	中橋 健二	鴨川シーワールド 営業推進支配人
11	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部
12	橋詰 良子	公募による市民
13	岡野 大和	公募による市民
14	川上 周一	公募による市民

【業務委託請負業者】

No.	氏名	備考
1	刈込 信道	鴨川観光プラットフォーム株式会社 事業推進統括
2	豊島 まゆみ	豊島まゆみ事務所 代表 鴨川市プロジェクトマネージャー
3	井上 裕史	株式会社 乃村工藝社 クリエイティブ本部 第三統括部 デザイン 7 部 R&D グループデザイナー
4	牧本 達郎	パースペクティブ合同会社 代表
5	飯田善郎ベンヤミン	

【市行政関係者】

所属・職	氏名	備考
鴨川市建設経済部長 兼商工観光課長	佐久間 達也	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	矢代 忠恭	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 観光振興係長	影山 光一	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 新たな観光づくり係 係長	濱野 和明	事務局

■配布資料

- ①次第
- ②席次表
- ③進捗報告 ※豊島まゆみ事務所
- ④図面

■会議要旨

1 開会 (午後2時00分)

2 委員長あいさつ

本日の会議は、次年度に向けてどうするかという点と、今年度のまとめになる。  
今年度、新たなものはないと思うが、これまでのところで反省すべき点などお話しただければと思います。委員会の方で忌憚のない意見を伺って、次に繋げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。議事録署名人ということで林委員、鈴木副委員長さん、よろしくお願いします。林さんがお見えにならなかった場合は私がやります。よろしくお願いします。まず、進捗状況ということで報告をお願いします。

※議事録署名委員に林委員 (欠席の場合 渡辺委員長) と鈴木副委員長を指名。

3 議事

- (1) 各種事業の進捗状況について (報告)

豊島氏	<p>一番最初に、全体像が変えていません。基本方針ということで、いよいよ今回民間資金の投入について具体策の検討が必要だろうという指摘があり、予算確保の確認できましたので、これをPPP/PFI検討と基本方針を訂正してあります。それ以外のところは変更点はありません。</p> <p>実際の進捗状況ですが、復興予算の動向も踏まえ、市民会館の解体は行われるのかという質問に対して、県の状況が変わっているということがありましたので、この辺りもお話をさせていただいて、フィッシャリーナの二期工事、前回からの変更点がありますので、これらについてご報告したいと思います。</p> <p>それから入札の状況として、フィッシャリーナ並びに機械設備の入札の状況について、市の方から説明をお願いしたいと思います。</p>
矢代補佐	<p>私の方から、先日行われました入札の結果と今後の事業についてご報告させていただきます。資料はA4横のカラーの地図が載っている図面になります。</p> <p>まず、初めに魅力体験広場の入札結果についてご報告いたします。今回の入札は制限付き一般競争入札ということで、入札参加受付期間が11月26日から12月6日にわたって行いました。全部で6社の申し込みがあったんですけども、最終的に入札の札を置いたのが3社ということになりました。この入札の結果、市内の株式会社久野工業さんというところが請負金額3,806万円で落札ということになりました。最終的な発注内容はお手元の資料なんですけど、これまで皆さんが協議されてきた内容を網羅したものとなっております。</p> <p>まず、資料1ページ目、こちらが今回の工事の全体の配置図になります。当初より若干芝生の面積を下の方に広げました。その辺が今までと少し変わっておりますけれども、芝生の面積が増えて、整備の面積としては2,000平方メートルくらいとなっております。</p> <p>続きまして資料2ページ目をご覧ください。こちらが電気工事に係る図面になります。広場内の電気の配線工事については、すべて地中の方に地下埋設という形をとらせていただきました。電気の照明なんですけど、まずヤシの木を下から照らすLEDの投光器が6機、あとは広場の中の砂場とか中の植栽等を照らすための小型のLEDスポットライトを5機、それ以外にキッチンカー等で使えるような地上式の外部コンセント4口を2機設置する予定となっております。以上が電灯機の工事の内容となっております。</p> <p>続きまして3ページ目をご覧ください。こちらは水道工事に係る図面なんですけど、当初は散水栓だけを移設する工事をやる予定でいたのですが、実際に水道のメーター器が夏を過ぎて変わってしまっていて、実際に違う沿路を整備すると真ん中に水道メーターが入っていたことがわかりまして、メーターの移設工事に併せて、ついでに二期工事で建築工事を予定するんですけども、図面の赤いラインが水道管の配管になるのですが、海太郎さんの方に向かって約57メートルくらい先行して水道管の方を埋めてございます。建築の際はここから水道をとることができるようになります。そのような工事が水道工事となっております。</p> <p>続きまして資料4ページ、5ページ目、こちらが植栽工事の図面なんですけど、入札公告期間中になるんですけども、棘のある植物が悪いんじゃないか、公共施設に植栽が危険なのではないかという問い合わせが1件ありました。これについては、植栽の樹所を決める際に安全性を考えながら、樹木の種類を変更するようなこともあるかと思えます。こちらは後日再検討するようにいたします。以上が今回の工事入札に関する内容となっております。</p>

	<p>続きまして、次年度以降ですが、来年度の予算編成の現在の状況について、皆様ご承知のとおり、台風15号、19号、10月25日の大雨の影響によりまして、来年度予算は復興支援に係る予算に重点が置かれる状況にあります。そのような中観光課としましては、当該施設整備の予算としましては、市単独費として建築工事の設計委託料として約380万円、工事監理委託費として約140万円、そして今回の事業の地方創生交付金を活用いたしまして、魅力体験広場の施設整備費として約3,000万円を予算要望しております。今後財政課の査定、場合によっては市長査定が行われて、最終的に市議会の承認を経て予算成立となりますけれども、あくまでも現在は予定となっております。</p> <p>それでは、来年度以降の施設整備について簡単ですが説明させていただきます。資料6ページをご覧ください。こちらが来年度以降、海太郎の方に赤い四角で管理事務所と書いてありますが、こちらを今回の地方創生交付金の方で行おうとしている二期工事の建築工事になります。規模としては60から100平米くらいの面積で、鉄骨か木造かまだ決定していませんが、平屋の事務所か休憩室、そういったところを想定しております。建築設計については、なるべくプロポーザル形式を使って提案型でやりたいと考えております。またその下にトイレとありますが、千葉県観光地魅力アップ事業補助金を使いまして、海太郎側に公衆トイレを整備する予定でおります。こちらについては、男性用が1器と女性用が2器、多目的用が1器という内容のトイレを作りまして、単純に計算すると、管理事務所とトイレの両方の排水関係に必要な浄化槽の収容槽は75人槽というのが基準となっております。結構な大きさの浄化槽となるので費用がかさんでしまうと思いますが、トイレと浄化槽を合わせて2,000万円をちょっと超えるくらいで整備をする予定でおります。トイレのイメージなんですが、資料の7ページから資料を付けてありますので、後ほどご覧いただければと思います。これまでも懸案事項となっているのですが、鴨川漁協との調整なんですが、正直なところ漁協の理解を完全に得ているわけではなくて、漁協としては今所有している土地を市に購入してもらって、その収益で新たな網干場を確保していくという考えを持っているようです。市としても工事が始まる前に説明に上がるのですが、市としても、過去の経緯からするとこの土地は購入する必要があるのかなと認識しているところなんですけれども、財政状況が大変厳しい中で今すぐ購入することは難しいかなと考えております。来年度以降施設整備も始まりますので、年明けくらいから漁協の方に何度か伺って丁寧に説明を行って、ご理解いただけるように協議してまいりたいと思います。以上で私の方からの報告といたします。</p>
小柴補佐	<p>キッチンカーの関係で資料はないのですが、12月9日から購入のプロポーザルでキッチンカーの購入を考えておりまして、19日までに参加する表明届を募集したところ、当面1社募集がきております。予算額としては900万円という形で、プロポーザルに参加するところには備品購入という形になるんですが、備品をどういう形で活用していくとか、魅力体験広場に配置する予定になっておりますが、そういう提案も含めた中で備品購入という形で募集をかけております。実際にはそのプロポーザルでやるのですが、委員会の方からは渡辺委員長と鈴木副委員長に審査会の委員として参加していただきまして、業者の方を選定していくと。実際には1社という形になりますので、点数が6割以上と制限しておりますけれども、点数によって業者が決定する運びとなっております。また、ある程度プレゼンテーション等を経て契約という形になりますので、次回の推進委員会ではこういったものが出されたのかご説明できると思いますので、よろしく</p>

	お願いいたします。
--	-----------

【質疑応答】

渡辺委員長	委員の方からご意見を賜りたいと思います。
松永委員	トイレや管理事務所が、マリナー寄りの海側にある理由は？
井上氏	イベントの活用だとか多目的にもう少し使う時に、真ん中にあると活用の幅が狭くなるということで、どちらかに寄せようと考えました。こちらからの土地を確保したいということと、例えばこれからどんどん民間が投資をして何かを建てるという時に、角の一番いい所を確保しておいて、こちら側に拡張していく。漁業組合さんの土地が将来購入できたら、最終的にこちら側に拡張していくこと考えています。ここの前後というところはもう少し今後検討していくこととなりますが、一番角の良い所を建物として使用し、電柱も撤去するという形で今回整備を考えました。
松永委員	角の所に管理事務所があると台無しだなと感じたが。
井上氏	名称としては管理事務所と書いてあるので、一般の人が使えないイメージの名称になっていますけれども、今、活用を考えているのは、キッチンカーを横付けしてそれが厨房機能を果たして、今回作る建物の方がイートインスペースということで考えています。
久根崎委員	カフェテラスとかなかったか。
井上氏	カフェテラスは元々整備としてはツーステージ、スリーステージで整備を予定しています。
鈴木副委員長	それが管理事務所ということですね。
矢代補佐	何にしようかということはまだ。
豊島氏	ここが大事なところで、前回オッケーをいただいた時は、管理事務所と書かれている所でもカフェの機能を備えるといった提案でしたが、そのところを割愛してしまったと思うんですけど、前回の時点では、来年度にプラス5,000万くらいおいて、管理事務所と書かれている中にカフェを整備しようという話がありました。ところが今回復興関係の事業費を最優先せざるを得ないということで、5,000万円の積み増しは難しいだろうということになりました。したがって何があってもカフェが機能できるようにするために、この予算の範囲内でどこまでできるかを考えると、おそらくオールシーズンお客さんが屋内で飲食できる場所を広めに確保して、今年整備予定のキッチンカーを活用して、まずカフェ機能を持たせるというのがボトムラインだろうというのが、前回と今回の一番の違いです。ですので、前回参加されていない方はあれって感じがあるかもしれませんが、前回から今回で予算上変更があったのはそのポイントです。なので、管理事務所という言葉になっていますけれども、いかに天候が悪くても暑くても飲食ができるようなスペースを確保するかという、お客さんのいるスペース兼アクティビティを受け付けをする場所というのが、管理事務所を持たせられる機能であろう。
鈴木副委員長	管理事務所というとただプレハブみたいなイメージだったんだと思うんですね。
井上氏	計画しようかと思ったのですが、合併浄化槽がすごく大きくなって予算をとられてしまって、建物自体がもっと小さくなってしまふ、これでは本末転倒だと。あと、今回備品でせっきゃくキッチンカーを整備する、これは厨房そのものなので、それを厨房に見立てて、その分少しでも予算内で整備したほうが合理的だという結論になりました。

井上氏	キッチンカーは最初の試算だと700万から890万くらい、厨房機器を入れて。今回プロモーション費用を入れて、提案型の活用を含めて少しソフトティを入れてというイメージです。
鈴木副委員長	キッチンカー以外の施設は無理なのか。900万かけたら結構なキッチンができないか。先ほどの説明では管理事務所の浄化槽は35人槽で結構大きなものとおっしゃっていたので、おそらく飲食の方もまかなえるのではないかと。
矢代補佐	カフェをやるとそれだけで35人槽必要になってしまうので、合わせると、今現在トイレだけで便器が4つ付いているので65人槽必要になってしまうんですよ。今の基準でいくとトイレだけで、それにキッチン付きのカフェを作ると35人槽必要になってしまって、100人を超えるような大きな人槽が必要になってきます。今の75人槽にキッチン付きのカフェをつなげるといって、人槽が足りなくて、もっと大きな人槽になってしまうので。
鈴木副委員長	それだけのものができればいいのですけども、代々木公園なんかに行くとキッチンカーでいろいろなものを作っていますけれど、あれくらいまでやってくれる人がいるといいんですが。
矢代補佐	あとは移動できるということで、災害時にそれを避難所等に運んでキッチントレーラーとして考えておりまして、それを炊き出し等に使えるのではないかと。
渡辺委員長	ここで漏れているのはキッチンカーにソフトの面もあること。大事なことは、ここで誰がカフェを運営するのかというところがずっと課題であって、手を挙げる方がいて、その方がこういう施設でこういうことで、市がこれだけしか用意できませんという中で決めていく話であって、それがキッチンカーを提案した方は運営するわけですか。つまりキッチンカー自体を納めるって話と、キッチンカーを使ってカフェを運営するっていうのとかかなり話が違ってしまいますので、どちらなのか、そこがわからない。
小柴補佐	管理運営はまた別な形になるんですけど、今回キッチンカーの提案をいただいたところについては、実際にこれから営業をしてくれる可能性がある方としてヒアリングをして、それがまだ契約上決まっていけない形になるので。その辺は今の時点では契約していないけれども、実際に運営をしてくれる可能性がある方とヒアリングをしている。
豊島氏	これは今期でいえばハード事業、備品購入という枠組みになっています。プロジェクトマネジメントの立場から申し上げれば、具体的にこの地域でやっている方にかかなり細かいところまで見ていただいています。ただし、他の人の応募のチャンスを損ねるわけにはいかないの、重量制限を含めて何を設置すればどういものが作れるかということとは想定しています。これは7月、8月の委員会を通して、ずっとやる人がいないというのは十分認識してかなり詰めたつもりです。
渡辺委員長	おっしゃるとおりですよ。管理事務所をガチとしたものを作る必要も全くなくて、ある程度木造で作って、なくなっちゃうかもしれないけどってくらいの話でも十分いいわけで。まさにそもそも論というか、何をどういうふうにするのか、ここでお客様を呼んで楽しんでもらうイベントがあった時にも使える、だからあまりきちっとしたものを決めないことだと思う。なぜきちっとしたものを決めないかという目的は、ここで商売をやる方がやりやすい環境は何なのかが今特定できないから、なるべく柔軟に基本的な設備とかそういった形にしましょうというのが今までの流れ。キッチンカーを購入します、キッチンカーを入れていいですよ。ただし、キッチンカーを責任をもって運営していくものがすべてあるんですねっていうことなんです。ここの管理事務所がどういものなのか、来年度整備する

	<p>話だからわかりませんが、ここでカフェテラスとキッチンカーを一体的に考えてもらわなくてはいけないというのは、僕らが決めるのじゃなくて、ここを運営する人が商売をやりやすい環境を僕らはどう作れるかということなんです。そういった意味で、松永委員が言ったこの管理事務所がボーンとあったら一番見晴らしがいい所に邪魔だねってことになるわけです。そうするともう少し見晴らしがいい所を押さえて、カフェテラスでの屋外でという話になると思うんです。確かにおっしゃったように公募で、公のことだから特定の方に塩梅よくやるということはできないとおっしゃるかもしれないけど、であるならば、初めから民間のお金が入ってうちのことでここをやりましょうと、公にしちゃえばいいじゃないですか。何かものを買ってあげることがこの魅力につながるのならないんですよ。今思い出しましたが、サーフィンの備品も地元の中学生対象で使用した後、それがどう商売につながっていくかっていうことです。それができず先延ばししているのなら、キッチンカーの導入も先延ばししていく形にしたらいかがですか、というのが僕個人の意見です。</p> <p>民間の人がここでやりやすい環境をどうやって作っていいのか、商売をどうやってしていいのかということの準備を、我々はしていきたいということなんです。</p>
鈴木副委員長	<p>私は、カフェみたいなものを想定していたので、建物にキッチンカーが横付けしていることは想定外でした。浄化槽の話があるならばトイレが云々で、本当にこんなに必要なんですか。男女でいくつくらいで考えているんですか。</p>
矢代補佐	<p>全部で便器は4つで、浄化槽の基準が便器1器当たり16人槽というのが基準なので、それで64で計算してきているので。</p>
鈴木委員長	<p>ちゃんとした建物ができてそこに誰か入りませんかというのと、建物じゃない、キッチンカーなんですけどというのでは、ずいぶん違うと思うんですけどね。そこで狭めちゃうのであるならば狭めない方法を。はっきり言ってトイレで人は呼べませんから。トイレのサイズを縮小して、本来人が呼べる所にもっとお金を投入していくとか、ちょっと工夫が必要なんじゃないですか。漏れそうな人はこっちのトイレに行ってもらえばいいですよ。付近に2か所であるじゃないですか。</p>
豊島氏	<p>前回の5,000万の中で収めようとするので浄化槽が大きくなって取り合いになってしまうということで、市の方はトイレの予算を別に取りようということになりました。トイレの話は別の予算の話で出てきた。この中からトイレを作ることを優先するわけではないと。</p>
鈴木副委員長	<p>その辺の擦り合わせをしているのか。</p>
豊島氏	<p>擦り合わせはだいぶできている。行政の仕事であるので、先ほど先生からあったみたいに、ほかの人もみんな入れるようにしなければいけないというのがありますので、決まっているということはない。かなり具体的にやっている方に聞いて、自分たちがやるんだったらこれだったらできる。そうすると施設側では通年雨の日でもお客さんが確保できるってすごく大きいことなわけです。暑い日でもお客さんを確保できるとなると、客席をいかに屋内で確保するか、シンプルな空間ができます。それから、以前からお話があったアクティビティの受け付け、何かあった時に尋ねて行ける、エリアマネージメントセンターがいつでもできるかわからない中でも、あそこに行ったら車が停められて、人がいて相談に乗ってくれる空間をどうやって作るかということを一応念頭に置いています。トイレについては、本当だったら温水シャワーの話が出ていたことは認識しているのですけれ</p>

	<p>ど、この予算の中では最初から置くのは難しいかなという中で、削って削って、キッチンを整備する代わりに今年出しているキッチンカーをきちっと使えるようにしよう、その代わりに客席をオールシーズン誰かが使っている、例えば、嵐の海でも誰かが来ると思うんですけども、その客席を確保できるようにしようという形で、今考えています。</p>
渡辺委員長	<p>僕個人のイメージは、このホワイトビーチの舗装側、下側、南側っていうんですか、芝があって、ここにキッチンカーが来てここでお茶を飲むってイメージだったんです。そのイメージだったのが、事務所を作ってカフェってことになったんで。なぜここを優先的に整備するかという話になるので、たぶん事務所がカフェテラスができる前は、ここにキッチンカーを置いて、ここでお茶を飲んで子どもたちが遊んでいるというイメージだと思うんですよ。そういった意味でそういう形にして、あとはカフェテラスを設けるのだったら、もう少し違う場所にするとかという形になると思うんですけど。とりあえずここをこれだけお金をかけて整備して、ここでキッチンカーを設けてきて、雨の日は無理かもしれないけど、天気の良い日にお客さんをどれだけ呼べるかっていうことだと思うんですよ。先ほどの鈴木副委員長の話に絡めてすると、このキッチンカーをレンタルで借りたとして、何人のお客さんが週末ここに来れば採算が合うかということはやられているんですかということだね。せめて週末土日だけ開いていたとして、キッチンカーが来た時に何人のお客さんが来て、そのためにはこういう採算で、コーヒー1杯売ったらこう出る。じゃあキッチンカーでコーヒーだけ売りますか、飲み物を出しますかかって話になるわけです。それは単純に商売の出発点になるんです。それを何もやっていない中でキッチンカーがどうのこうのと言われても、全く信用できないわけなんです。擦り合わせをするのなら擦り合わせをした分として、彼ら彼女らが土日週末だけ、夏だけやりますよといった時に、採算が合うか合わないかが重要。</p>
鈴木副委員長	<p>食べ物を出さないとたぶん稼げないですよ。</p>
藤巻委員	<p>目的地のためにカフェをやるのならいいと思います。キッチンカーが目的地にはなり得ないから、どうやってお客を呼ぶのか、この公園に来たいがための人で運営をするのなら運営はできないですよ。</p>
鈴木副委員長	<p>ここに行くために人が集まってくるというのは、この絵面からはほとんどないと思いますね。だから、ここでお茶でもしようとか食事でもしようかというニーズが第一優先だと思うんですよ。</p>
渡辺委員長	<p>計画で出られる方は週末だけなのか、夏だけなのか。</p>
豊島氏	<p>今の時点だとオールシーズン、週末、それから平日だと季節によって違って、エブリデーではなくウィークデーにおそらく3日休くらい。オールシーズンと言いましたが、やはり外でやる人って複数の仕事をもっていたり、海外に仕入れに出ることもあるので、例えば閑散期の2か月間は場合によっては他の人が使うという形が、キッチンカーに関しては現実的であろうと。本当はチャリンチャリンがよくて、駐車場であったりとか元々電源を引くことになってRVで1日2,500円ずつ稼げるというところが見込みでなくなったところです。そこはもう一度試算してみます。食事に関してはないと合わない。ただし、本格的なところまで出せるという感じではなくて、せっかくカフェもありますので、かぶらないようなカフェ飯という感じで今考えています。いかに地場のものを使ってだったりとか、今回11月にアートフェスの時にいかに空間をどう作るかということで、子どもが来なくなる。人が来る気配を作るための空間をつくる必要がある。</p>
渡辺委員長	<p>商売をやられている方にお聞きしたいんですけども、キッチンカーを安く提供してこれで商売をやれっていう時に、個人経営の方がやれる感じなん</p>



	ですか。
藤巻委員	夏は、この場所が駐車場になるから絶対いいですね。
豊島氏	夏はやりたいという方が、青島じゃないけれどあると思うんです。逆に公共の施設であればある程度他の人も使えるよう作らざるを得ないかなと思います。
藤巻委員	夏だったらキッチンカーを持っている人がここに置かせてって話が来ると思う。それだったらキッチンカーを買わないで、ここにカフェを建てる算段をした方がいいんじゃないの。建ててくれれば俺やるよ。
豊島氏	さっき井上さんが見せてくれた中で、今こっち側に拡張性があるというのは、人がいる気配が出てきて、そこだったら店を出してもいいという人には出してもらえるように、環境を整備していく。だけれども、そのきっかけがないというのが真の課題だと言われてきたとあっていて、そのきっかけをいかに作るかということと、これから漁協さんとの調整がどうなるかわからないことがあると思うんですけど、整った時に出していく…
渡辺委員長	漁協さんに関して議論をクリアにしたいんですけど、漁協さんのお持ちになっている土地を購入してほしいというのが漁協さんの話であって、我々としては漁協さんの土地でない所でこういうことをやりますよってことを漁協さんの了解を得ているわけですね。
矢代補佐	今年度の事業についてはオッケーです。来年度以降の建築については、当初ここを全部建物で埋めてしまう予定だったので、それで持っているんです。それで、ちょっと困るよねみたいになっていまして、今回管理事務所というかカフェみたいなものをそちらに来年度以降予定、一つの建物で持っていったいないので、そこはちょっとまだ…。
渡辺委員長	<p>市が所有している土地の中である程度やっていって、漁協さんの方の立場からすると買ってほしいんだけど、買えないとするならば網を乾燥する場所を確保したいと。その網を乾燥させる場所として駐車場が使えて、こういう時期でこういうふうに使えますと了解さえもらえれば、お互いにとっていい。どう考えても市の財政から買えるというのはあり得ない。そうすると、向こうがお困りになっている網を乾燥させるってところを、時間が限られますけどできるという了解の中で、これをやっていくしかないと思うんです。それができないとなると漁協さんが困る。漁協さんの頭の中は網を乾燥させる場所が欲しいと。</p> <p>それは時間が限られてしまうかもわからないけれど、駐車場を使っていない時に使えると交渉をなさったらいと思います。そこをクリアしないと。向こうが困っていることというのは、買ってあげればそのお金でどこか土地を買って網を乾燥しますということだから、この計画の中でとりあえずそれはできますよと。</p> <p>経緯があると思うので、漁協さんにとっては網の乾燥が一番、その手当てをどういうふうにしていくかという中で、話し合っていく必要があるかなと思います。それから、そろそろ時間なので締めななきゃいけないんですが、基本的には大きな流れから言うと、キッチンカーは買わないでここにコーヒーを提供するものができたらいいと思うんです。予算上繰り延べというか、来年度に持ってこられるのなら、もう少しここは時間をかけたらいんじゃないかということなんです。それがだめだということになった</p>

	ら、キッチンカーを買うんだったら、それをちゃんと運営してやってくれるシステムを作ってもらってからの方がいいんじゃないですか。
大内委員	基本的なこととして、これは目的としては旅行者の方がここに集まることを想定しているのか、それとも地元の人が来たいと思うことなのか、どちらですか。
豊島氏	すごく単純に、平日は地元の方の利用がないと利用率が上がらないし、オールシーズンという話が全部言葉だけでやってしまうと危険なので、例えば1年間の中で、そのプレーヤーは週2日間受けます、だけどその2日間を土日に出してもいいという人もいます。青島なんかでもそういう方式でやってらして、青島ビーチのそばにお店のある方が、自分の単独のお店よりも夏のシーズンはコンテナの方が収容があるから、その時期だけは自分のお店を閉じてこっちに来るといったパターンがあります。平日の原則としての利用客は、シーワールドさんがあるから来てほしいですけど、まずは地元の方、そして子供連れの方に遊び場として来ていただけるシーンが見れること。時間帯についてはすごく大事なところでして、夜の営業については、今でも後ろのマンションの取り合いというのがありますので、かなり慎重に調整していかなければいけない。夏に関しては皆さんだいぶ慣れていらっしゃるようなので、だいぶやりやすいかもしれないですが、夜の営業をどこまで管理するかというのが課題です。
大内委員	逆に平日の昼間って集客しにくいのでは…。
豊島氏	親子連れというイメージでいました。日中にゼロよりもキャッシュインがあるという想定で、平日は思っていました。あとは秋口とかになりますと、観光協会さんがバーベキューが終わった時期とかにスマートバーベキューをいかに入れていくかですとか、いろんなイベントがある時の駐車場の管理を夏以外の時は収入源にするとか、ミックスをしないと人件費が出ない。今の時点で市が管理費何百万とか出しているというのならやりやすかったと思うんですが、確認したところヤシの管理費しかないんです。なので、まずはやってくださる方が、おそらく複数業者の組み合わせになることを想定していますけれども、その方たちにとって続ける意味がある、できるだけ今考えているのは、ファーマーズマーケットとかマルシェを誘致することなんですね。その時に大事なのは、水があって電気があることなんですね。その時に選ばれる場所になって、空きスペースで少しでもキャッシュを稼ぐことが好調で、賑わい、人がいる感じにならないと次の人が来ないというところを、今考えています。
渡辺委員長	締めに入りますけど、基本的に避けたいのは、キッチンカーを買いましたけど、使われていませんってことは避けたいわけです。それを避けるためにはどうしたらいいかということは、いろいろ必要とするスペックを考えられているということで、同時にそれをやる方の要望を聞きながら、ある程度詰めてもらわないといけない。もしキッチンカーを買って活用しないということになった時にどうするかということです。それは委員会も含めて行政の方でそこまでの責任をきちんともってもらわないと。
小柴補佐	このキッチンカー、今まではタイニーハウスという形で、それがキッチンカーなんですけども、それを設置するという点については、これまで推進委員会の方でご了承いただいています。今後の分につきましては、市の

	<p>事業という形になりますけども、そこをどこが管理して、その中に入ってくる部分については、どういう形で募集するかはわからないですけども、これまでのキッチンカーとは仕様も違うので、まずは賑わいを作るきっかけに当然なるので、まずこちらについては、きちんと仕組みを作った中で運用していくというのは必ずやるという形です。当然今回繰り延べという形になりましたけれど、それについては今まで説明してきた会議の中で、キッチンカーの購入という形で話はまとまっていますので、今回は購入させていただきたいということと、それについてはきちんとやっていくということをお約束させていただくということで、ご了承いただければと思います。</p>
渡辺委員長	<p>何回も言って申し訳ないが、委員長の責任でもあるのですが、それが条件で進めてくださるようお願いいたします。それから、来年度にかけては、もう少しここで商売をやる方の意見を聞きながら進めていくというのが大事だと思いますので、そこを努力してください。</p>

(2) 市民会館等周辺の基本方針について

豊島	<p>市としては予算があるわけではないという中で、いかにPPPの活用をしていくかというお話が委員長さんからもご指摘がありました。今のところ東洋大学の根本先生のところなんですけども、そこが基本計画や構想がないゼロ段階で、いかに自治体が民間にやりやすい枠組みを作る必要があるということで「サウンディングゼロ」という相談会の情報を提供してくださいましたので、金融機関の方とご一緒に1月27日に相談することとなります。</p> <p>それから、そもそも民間側から見てどういうところが魅力的なわけって話を、昨年も市役所側では1回勉強会をやったんですけども、PWCという大手コンサルで民間側のファイナンシャルアドバイザーの方に1月か2月に来ていただきお話を聞かせてもらおうと思っています。</p> <p>あと、市民会館の方は、前回去年の段階で、ライフスタイルだったりとか少し商業施設が入ったりとかお話があったと思います。その後駅からのアプローチという意味で、商業施設系の感性がある方が入ってこない、ソフトであったりハードもできないということで、CCC（カルチュア・コンビニエンスクラブ）にいらした方がたいへん興味を持っているということで、この方や、ほかに商業に詳しく、駅からの魅力、かつ昭和、新しい次の時代の感性がわかる方に入ってもらって相談しながら進めていきます。市民会館の方はこうするべきだよとか、こういうふうにお金がとれそうだよねというところまでは結論付けたい。</p> <p>あと、先ほどからある運用採算ということなんですけど、フィッシャリーナのR02年度一期工事が終わった後にどう運用するかということにつきましては、前回の委員長からのご指摘で、市民会館の方まで見据えたプレーヤーと共に考えるということと、できればゴールデンウィーク前後に仮称魅力体験広場をオープンし、小さいなりにきちんとできて、そのプレーヤーの方と現計画において年間のイベントを含めたスケジュール、おそら</p>
----	--

	<p>く観光協会さんとか漁協さんとはやりながら調整が必要となりますが、情報を開示していただくなど相談しながら、市民会館を含めて総合的に数字を出していくってことをしたいなと思っています。</p> <p>トレーラーハウス、キッチンカーが整えば、何とか実際に運用していただいた方には、実際に何人くらい、どういう売り上げがあがったのかといった情報提供を求める枠組みを決めていければと考えています。</p>
渡辺委員長	<p>これに関してご質問はありませんか。</p> <p>基本的には以前から銀行系の方に入っていた方がいいんじゃないですかという議論があって、基本的には以前市民会館を壊すというようなお話があったものですから、ここを勉強しましょうと。私自身が勉強しなければいけないんですけども、外部のコンサル等に負けないようにするにはどうしたらいいかという、我々が勉強して経験知己を深めていかなければならない。外部の方も相手の力量を見ながら力の出し加減をいたしますので、と申しますのは、私前職はコンサルなんでよくその点はわかるんです。そういった意味でも、市民会館は儲かるんですかという話を民間の業者から聞く「サウンディングゼロ」といった機会を年明けに予定している。それにより、民間活力と資金を活用した旧市民会館あたりの活力が生まれればと思います。</p>

次回会議については未定。調整後

#### 4 閉会（午後4時00分）

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

令和元年12月27日

渡辺 淳一

鈴木 健史